

イベント出展：「和の美日本文化祭」

主催：K I M中日文化交流会 共催：在上海日本国総領事館 後援：J N T O、池坊文化
 開催日時：11月7日（土）～9日（月）開催場所：長寿路155号 Channel-1 ショッピングモール内
 来場想定人数：5,000名（**実際の集計結果：30,000人超～ / 期間中3日間延べ人数**） 入場料：無料

場 所	中国・上海市 / ショッピングビル「channel 1」	期 間	平成 2009年 11月 6日 ~ 11月 9日
目 的	中国（来年の万博を控えた上海）にて、市内ショッピングモールで開催された日本交流展（添付画像参照）への出展を通じ、秋葉原のPRと共に現地における秋葉原への印象や捉えられかたを生の声として拾い上げ、新たな秋葉原キャラクター創造へのマーケティングリサーチを行う。		
事項	上海における日本への関心の矛先と、今後の秋葉原への課題。		
<p>上海での日本への関心度はとても高く、添付写真でもわかるように様々な日本固有の文化を通して、「日本という国」そのものが広く受け入れられている事を実際に肌で感じられた、大変出展意義のあるイベントでした。開会は、まず鏡割りから始まり、剣道、居合、華道、そして着物でのファッションショー、沖縄エイサー、さらには「よさこい」まで！などなど・・・。</p> <p>着物への関心の高さは、この開催イベントの主催者でもある上海人の女性が中心となった「和服（着物）愛好家」によるところは大きいものの、実際に本ブースへ足を運んで下さった来店者の多くは、日本そのものへの関心の中でも、とりわけ「秋葉原」というネームブランドに興味を持って立ち寄る方々が数多く見受けられました。</p> <p>しかしながら実状として、本協会ブースに立ち寄られた方の中には「秋葉原」という名前は知っているものの、「どのような街なのか」「何が有名なのか」といった質問が実際に飛び出し、意外にもまだ「秋葉原」の認知度の低さが見受けられる点も少なからずありました。</p> <p>やはりその中でも比較的若い世代（大体10代後半～30代前半）の女性から聞く事が出来た「今の日本への関心の矛先」には、「声優」「マンガ」「歴史に関するアニメやコスプレ」「ゲームキャラクター」「日本の芸能人（特にジャニーズや、ラルクアンシエル）」「ゴスロリ」などに関する“具体的な名称”（例えば声優の名前、歴史上の跡地、芸能人の名前など）が数多く挙げられました。</p> <p>上海市内ではメイドカフェが、数は多くないものの人気は高いようで、女性の来店者もいると聞きました。本ブースへの来店者へ共通して聞いた設問として、「秋葉原へ行ってみたいですか？」という問いに、すべての方が「はい、ぜひ」と言って下さいました。そして「秋葉原に何を求めていますか？」の問いには「同人誌の店に行きたい」「フィギュアが見たい」という回答。つまり高いから買えない、でも見たい、だそうです。多くの若い世代の方々は日本語を積極的に勉強している点からも同人誌への関心の高さが伺えます。「秋葉原へ行きたい」と云う（若い世代の）多くが、「秋葉原で買えるお土産は1,000円以内」という回答が多かったのも現実です。これらを踏まえ、今後の秋葉原オリジナルキャラクター創造に活かせる調査結果とし、反映させて行きたいと思います。</p>			

別紙画像：着物を着ているのはすべて上海在住の中国人の方々です。とても上手に着こなしており、ファッションとして着物は大変人気が高く、特に関心がある衣装は、「巫女さん」の格好だそうです。







追加

イベント開催中には様々な業界関係者も来場。

彼女たちの手には、私たちの「秋葉原新発見ツアーDVD」が！

